

## 「吾妻はひとつ」に期待する

高山村教育長 山口 廣



「吾妻はひとつ」という言葉を聞いたことがありますか。吾妻郡内の各種会議のあいさつの中でよく聞く言葉です。吾妻郡教育長会議の中でもよく出てきます。私も使います。

さて、「吾妻はひとつ」とはどういうことでしょうか。正解があるというものではないかもしれませんが、それぞれの担当が「吾妻はひとつ」の意味を考え実践し、吾妻郡の教育の充実・発展に努めることではないかと思っています。

私は、教職員の多忙化解消に向け、「吾妻はひとつ」が機能するのではないかと思っています。県教育委員会では多忙化解消のための提言をしています。「廃止・縮小・ICT化」による業務改善です。この中のICT化は、パソコンなどのソフトを各校で同じものにすれば、教職員が異動しても戸惑うことなく業務に取り組み、多忙化解消になると思っています。すでに、学習支援ソフトや学校日誌、保護者との連絡などは郡内で同じソフトを使い、成果を上げています。

しかし、全国学力・学習状況調査で使用する学習eポータルは統一されていない現状があります。Google for educationは、町村で設定の違いがあり、異動したときに今まで利用できたソフト（eメール、オンライン会議、カレンダーなど）が利用できないとの話も聞いています。文部科学省が学校への導入を計画している統合型校務支援システムにおいても同じシステムが導入できれば、多忙化解消に大きく貢献することが期待できます。

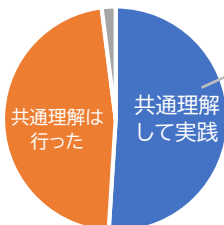
吾妻郡教育長会でもこのような議論が行われています。教育にかかわる多くの方が「吾妻はひとつ」を合言葉に、吾妻の教育の充実を考え、実践してくれることを期待します。

## 学校教育係 令和5年度のまとめ

12月実施の「学校・園経営の重点に関するアンケート調査」に対するご協力、大変ありがとうございました。計画訪問やアンケート結果から見てきた本年度の成果について「学校・園経営の重点」における6つの柱に沿ってまとめました。次年度へ向けた参考資料にさせていただきたいと思えます。

## 学校・園づくり

Q. 学校教育目標や校内研修等における育成を目指す子供の具体的な姿を全職員で共通理解することができましたか？



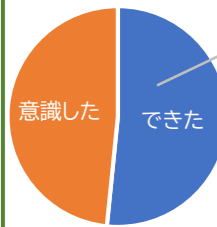
- 会議の内容の**確実な伝達**、**議事録の共有化**。多様な勤務体系を有することも園は、**短時間で効果的な情報交換**がポイント。(応桑こども園)
- 職員会議だけでなく、運営委員会等での情報も、**各主任・各担当が確実に伝達・共有**したことが先生方の意識の高揚につながった。(中之条小、東吾妻中)
- 全員にしっかりと伝えたいことは、「**見える化**」している。(長野原中央小)
- 週一回、**特別支援コーディネーターを中心に**、特別支援担当者会議を行い、具体的な支援策を検討している。(嬭恋東部小)

## 組織対応の展開と風通しのよい職員室づくり

成果をあげている学校・園の特徴としては、学校・園経営の方針に沿って、すべての活動で**組織対応しているという共通点**がありました。管理職が経営方針を示す中で、**組織で教育実践をすすめていくこと**のよさを全職員で共有すること、**風通しのよい職員室**の雰囲気づくりを大切にいただいています。

### 特別支援教育の充実

Q. 子供の個性を認め受け入れ、寄り添い支えることで、子供との信頼関係を築くことができましたか？



- 教育相談の機会を積極的に設け、生徒・保護者の困り感や願い・希望を確かめながら、支援体制や支援計画を構築した。**一人一人のニーズに応じた指導・支援**にあたる事ができている。(東吾妻小)
- 特別な配慮の必要な児童の支援方法について、**学校全体で共有し、支援に生かした**。(原町小)

すべての子供たちに対して、その子供の得意なことに目を向けることや、つまずきに対し、どうすればできるようになるのかという**特別支援教育の視点**で、一人一人のニーズに応じた具体的な支援を工夫していただいています。

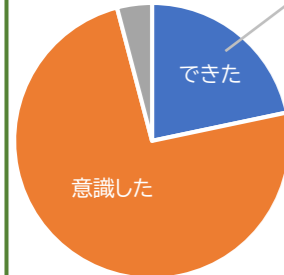
### 「得意なことに目を向ける」「つまずきに寄り添う支援をする」の実践

- 特別支援教育に関する研修を校内研修の年間計画に位置付けたり、特別支援教育担当を中心としたミニ会議を実施したりして、学校全体で**研修体制を整えている**。(中之条小)
- PTA セミナーにおいて、教職員と保護者を対象に、**特別支援教育に関する講演会**を開催した。(岩島小)
- 特別な配慮を要する児童への支援方法について、専門相談員に**継続的な相談**をした。(高山小)

支援方法に困ったときは、専門相談員や専門アドバイザーへご相談ください。今後も特別支援教育に関する研修等の情報を発信していきます。先生方の研修に、ぜひご活用ください。

### 確かな学力の育成

Q. 子供の気付きや疑問を引き出しながら、学習意欲を喚起する「めあて」を、子供と共につくることができましたか？



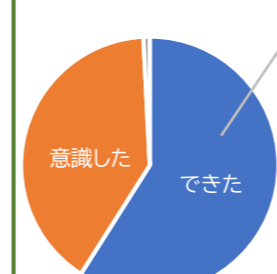
- 単元の始めに、子供が**必要感のある学習課題**をつかむことで、単元を通して主体的に課題解決に向かう姿勢が見られた。(中之条中)
- 子供たち自身が、**能動的に「学びたい」という状態**で「分かる」喜びを味わえたとき、知識・思考・継続的な学びへの意欲などが深まると感じる。(応桑小)

子供の気付きや疑問を基にした単元(題材)の課題をつかませることで、子供たちの学習意欲を喚起させ、**単元(題材)の最後まで「学びたい！」**と思える授業を展開していただいています。

**「子供がゴールまでの道のりをイメージして、主体的に学習へ取り組む」それを支援していく教師の役割**

### 豊かな人間性の育成

Q. 子供が「認められている」という自己存在感を実感できるような声かけができましたか？



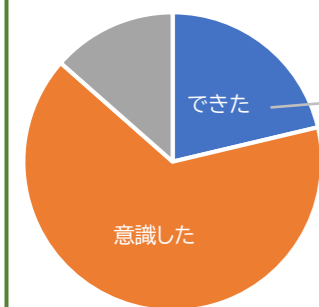
- 子供の**目を見て呼名**したり、対話したりして、子供が自己存在感を実感できるような声かけができた。(六合中)
- 男女を問わず「さん」**付けて呼名することは、やわらかで居心地がよい。(岩島小)
- 子供に**身近な大人の一人**として、教師自らの人間性をまず磨かなければならないと意識した。(応桑小)
- 教師自身が「信頼できる大人」として**、子供や保護者から認められている存在であるかが大切。(原町小)

どの学校でも温かなまなざしで、日々、子供たちが**自己存在感を実感できる声かけ**をしていただきました。「学校・園経営の重点」に示した具体的な取組について「**できること**」から始めていただいています。

**日々の学級経営や教科指導で「できることから始める」ために生徒指導提要在活用できます**

### 健やかな体の育成

Q. 子供が目標をもち生涯にわたって健康を保持増進できる基礎を育てることができましたか？



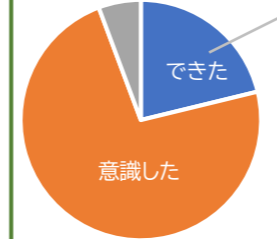
- 春と秋の健康相談や学校保健委員会など、**保護者を巻き込んで**健康や体力向上について**考える機会**をもつことができた。(原町小)
- 運動を強制することなく、**好きになれるような手立て**を先生方がしてくれていた。業間や昼休み、放課後は運動する姿が見られた。(岩島小)
- 校内研修テーマを「体力向上」に設定して【体育授業班】【運動環境班】【調査連携班】に**役割分担して学校全体**で効果的な体力向上に取り組んだ。(草津小)

子供たちが目標をもって進んで健康的な生活習慣を身に付けていくために、学校全体で、**健康課題や目指す子供の姿を共通理解**し、**目的を明確にした活動**を実践していただいています。

**子供たちが生涯にわたり心身の健康の保持増進をするために1年を見通した教育活動全体の取組**

### 幼児教育の充実

Q. 幼児に任せて見守ったり、解決過程を認めたりして幼児の自己肯定感を高め、幼児の主体性を伸ばすことができましたか？



- 日々の保育の中で**幼児の興味関心を捉え、一人一人の発達**の姿に応じた環境の構成を工夫している。(中之条幼稚園)
- 幼児の思いや願いを捉え、寄り添いながら、「自分たちでできた」「挑戦してよかった」という**充実感が味わえる援助**をしていただいています。ついつい先回りして教え、誘導してしまうことを悩んでいる方もいらっしゃるようです。幼児の成長に対する願いを大切にしながら、**任せて見守る**ことを継続してください。

### 幼稚園・こども園と小学校の連携

- 小学校の先生と、**幼児教育や小学校教育について情報交換し、目指す子供像を共有**しながらお互いの教育活動を進められたら、**幼児教育が更に充実**すると考えている。情報交換の時間をどうつくるか、検討している。(たかやまこども園)

計画訪問等で互いの保育参観・授業参観も増えています。小学校の校内研修で、近隣の園長が幼児教育の講演をした事例もあります。**連携の必要性**について理解し、**情報交換**を行うことからはじめ、架け橋期のカリキュラムの作成を進めていきましょう。ぜひ、**小学校側から**幼稚園・こども園への積極的な働きかけをお願いします。

## 生涯学習係 令和5年度 事業のまとめ

## 地域と学校の連携・協働推進フォーラム

「今なぜコミュニティ・スクールなの?」「地域学校協働活動とは?」というテーマのもと、本フォーラムを開催しました。

郡内・県内でも多くの学校が「コミュニティ・スクール」となり、学校運営協議会が設置されています。また、地域学校協働活動推進員が活躍し、地域学校協働活動が充実する体制を各町村が整えています。

高山村の事例発表では、地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、子供たちが地域住民に見守られ、村ぐるみで子供たちを育む環境を整えていることが紹介されました。

伴氏の講演では、大人が本気の姿を見せ、学校と地域住民がつくる上田市の小学校を例に、子供たちの幸せについて考えるきっかけを与えていただきました。また、参加者全員で「熟議」の体験を行いました。



講師：伴 美佐子 氏(信州型コミュニティ・スクールアドバイザー)  
演題「地域のかで子どもを育む ～地域と学校の協働 上田市の事例～」

## 参加者アンケートより

- ・なぜ今コミュニティ・スクールなのかわかった。時代は動いている。教職員の意識を高めることが課題。(教職員)
- ・我が町でも行われようとしているコミュニティ・スクール、すごく楽しみになりました。(保護者)
- ・事例発表も、講演もとても感動し、自分たちも何か子供たちのためにできないかと思いました。(社会教育委員)
- ・子供たちの環境は大人がつくり出したもの。子供が幸せを感じる社会づくりをするために、大人が動き出さなければいけない。(民生児童委員)

## PTA 指導者研修会

PTA活動は大変だとイメージをもたれることがあり、やり手がないというような状況もある中、星氏による講演では、3本の『や』として

「やらないといけない(義務感)」

「やらされている(強制感)」

「やらない人がいる(不公平感)」をなくす、新しいPTA活動を御提唱いただき、各学校の実態に合わせ、無理のない形にアップデートできる組織であり続ける必要性を御教示いただきました。

また、令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞した中之条町立沢田幼稚園PTAと県教育委員会表彰を受賞した中之条町立六合小学校PTAによる事例発表も行いました。メディアコントロールに関する家庭教育の重要性や、地域と一体となったPTA活動が評価されました。



講師：星 義克氏(嶺町小学校PTO前団長)  
演題「3本の『や』がなくなればPTAはハッピーに!」

## 参加者アンケートより

- ・時代に合ったPTAのあり方を考えていかないといけないと思いました。(PTA役員)
- ・「楽しむ学校応援団」という考え方が素敵です。現PTAをどう自発的な組織にするかということが課題だと感じます。(PTA役員)
- ・できる時に、できる人が、できることをという考えをもった組織にしていくのもよい。(教職員)
- ・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を進めようとしている今が、気運の盛り上がり時なのかもしれません。(教育委員会事務局)